学校法人浪越学園

日本指圧専門学校同窓会

会報

第46号
発行年月日　2025年4月
発　行　人　会長　大崎　益弘
編　集　者　黒沢　純一
金子　智久
大久保直子
日本指圧専門学校同窓会
東京都文京区小石川 2-15-6
〒112-0002 TEL03-3813-7354
題　字　　山内　貞史郎
https://www.shiatsu-obog.com/

会長挨拶

日本指圧専門学校同窓会　会長
大崎　益弘

本年は巳年ということで昔から草花を象徴し大地に豊かさが拡がっていくとされていることから「努力を重ね、物事を安定させて栄えていく」という意味合いを持つ年と言われています。指圧業界も巳年にあやかり良き年になることを願うところですね。

私は土曜日、日曜日に新聞の社会面や文化面の記事を読むのを毎週末楽しみにしています。

その中でヨーロッパの有名ファッションブランドや世界３大料理の一つであるフランス料理の新しい取り組みの記事はとても興味深いものでした。ヨーロッパのファッションブランドはそのデザイン性と素材の確かさで消費者を魅了し続けていることは皆様周知のことと思います。そのブランドの多くが日本をはじめアジアの伝統的な意匠や職人気質に触発されて自身のブランドにその特徴を活かして独自のデザインに仕上げていることです。

フランス料理でも和食の基本である出汁(だし)に着目してフランス料理に出汁の技法を取り入れるという挑戦をしているようです。そうした取り組みは彼らにも独自の伝統的な技術と感性が備わっているからこそ単なる真似ではなく独自のブランドとして消費者を魅了する完成品ができるのではないでしょうか。指圧に置き換えれば浪越指圧の基礎があればこそ変幻自在に他流の技さえも活かせる可能性がたくさんあるということです。日本指圧専門学校のブランドである浪越指圧に磨きをかけて行くことこそ指圧師として飛躍の土台になるのです。

同窓会は同窓生の懇親、交流の形としてそうした大きな可能性を秘めた基本指圧の可能性と魅力を再認識する場としてその役割を果たしてまいりたいと考えております。多くの同窓生が誇りをもって指圧業を生業とすることができることを願いつつ令和７年度冒頭の挨拶とさせていただきます。

【同窓会総会参加のお願い】

日本指圧専門学校同窓会は会員相互の懇親、交流が目的です。その活動は長年にわたり同窓会総会、会報誌、研修会、懇親会等によりその目的を果たしてまいりました。

またそうした同窓会活動は同窓会発足以来、会員の皆様の寄付金、年会費、新入生の同窓会入会金によって支えられてきました。令和７年度においても同窓会は400万円以上の余剰金があり無駄な支出を抑え健全運営を続けています。しかしながらここ数年の社会環境の変化と同窓生の世代交代により今まで成り立っていた同窓会運営も新しい環境への対応を余儀なくされることが想定されます。令和７年度同窓会総会ではそうした環境変化で想定される同窓会の状況を会員の皆様に説明させていただき、令和８年度以降の同窓会運営のありかたについて説明させていただきたいと考えております。同窓会総会に参加される人数は4,000人を超える同窓生に対してきわめて限定的です。できるだけ多くの同窓生に現状と今後の展開について知っていただきたく同窓会総会開催前の会報誌に会長挨拶に加えお報せさせていただきました。

あらためて多くの同窓生の皆様の同窓会総会への参加をお願い申し上げます。

FOUNDED IN 1959. JAPAN SHIATSU COLLEGE ALUMNI ASSOCIATION.

デザイン：鈴木啓太(49期)

【令和６年度】通常総会が開催されました

日本指圧専門学校同窓会の令和６年度通常総会が、令和６年６月９日（日）、本郷三丁目のホテル機山館にて開催されました。

出席者は在校生も含め約80余名、定刻10時半を少し回り、同窓生物故者に対し黙祷が捧げられた後、総会が開催されました。

角本靖司先生の司会のもと、君が代斉唱、大崎益弘会長の挨拶と続き、浅谷健介名誉会長からご祝辞を頂きました。

総会の議事は①同窓会役員について、②令和５年度事業報告（令和５年度同窓会総会、会報誌、研修会、施術者傷害保険）③文化部報告④令和５年度会計報告、監査報告⑤令和６年度事業計画（同窓会会則案、同窓会新運営委員、ホームページリニューアル、研修会、税務相談窓口）⑥令和６年度予算案について行われ、予定時刻をオーバーする数々の質疑応答の後、全員の拍手により承認されました。

午後からの懇親会は、新入会員歓迎懇親を兼ね、和やかな雰囲気の中、進められました。日本指圧専門学校理事長であられる同窓会名誉顧問浪越和民先生の名誉顧問挨拶、同窓会会長大崎益弘先生による会長挨拶と続き、川原善次郎先生による乾杯の挨拶、続いて和やかな歓談に移りました。今回も立食パーティー形式にしたことで、新旧会員の交流も盛り上がり、思い出話や業界の事、仕事の事など話に花を咲かせていました。また、新入会員も諸先輩からの助言やアドバイスを熱心に聞き、交流を深めていました。

最後に、校歌を全員で斉唱し、そして閉会の挨拶と続き、これをもって本通常総会は閉会となりました。

同窓会ホームページが
フルリニューアル
されました。

同窓会ホームページが全面リニューアルされました。
同窓生の皆様、是非新しい同窓会ホームページを
ご覧いただき交流を深めて参りましょう。

【是非ご登録ください】
URL：https://www.shiatsu-obog.com/

母校より寄付金のお願い

(学)浪越学園では、本学における教育・研究活動の充実、発展を目的として、
個人や企業の皆様にご寄付をお願いしております。
卒業生の皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

【申込方法】
学校ホームページ(→)よりお申込みいただく
か学校の寄付金窓口にご連絡ください。
Tel：03-3813-7354

パリオリンピック奮闘記
～老いて益々過激に！～

第63期　山下　秀康先生

「やらせて下さい！お願いします!!」
２０２４年４月、ボクシング「オヤジファイト東海大会」試合前Ｄｒ・チェックで高血圧を理由に棄権を勧められた友人Ｓ君は粘った。粘って粘ってＤｒ・と大会会長を辟易させ、一発でもクリーンヒットを貰ったら、その時点でＴＫＯで敗けとするという条件の下、リングに上がる事となった。嘗てコロナ禍真只中、Ｓ君は私の指圧実習を受ける為、下田から上京し浪越に来てくれた竹馬の友だ。彼からこの試合のセコンドを二つ返事で引き受けた私だったが、指圧師として、やはり彼に試合を棄権する様に説得を試みた。が、彼はなびかず、リングに立ち、そして勝った。

目から鱗が落ちた。卒業後、コロナ禍に開業したがうまくいかず廃業。就職し、指圧経験を積む事が出来、リピーターも増えて来ていた。しかし薄給。このモヤッとした不満を払拭するにS君の健闘は充分過ぎた。時節は春闘後のベア5％上昇を達成した大手企業の記事が紙面を賑わせていた。1％しか上がらなかった私は社長に掛け合い、玉砕。一ヶ月の独人ストライキの後、退職日6月3日の夜に羽田を発った。常識や年令など関係無い！今やりたい事に形振り構わず挑戦するのだ!!

さて、今やりたい事とは？そうだ日本発祥の指圧を私の手指を通して異国・異文化の人々に味わって頂こう。どうやって？7月にパリ五輪があるじゃないか！よし、パリに乗り込んで、オリンピアンに指圧しよう!!

折角ヨーロッパに行くのだから、大好きな乗鉄旅をして行こう。こんな機会は薄給の私には二度と無いかもしれない。

6月4日イスタンブール到着。列車にてブルガリアへ。バルカン半島をセルビア、モンテネグロ、ボスニア・ヘルツェゴビナ、クロアチア、スロベニアと北上し、歩いてイタリアへ入国。スイス、リヒテンシュタイン、オーストリア、ドイツと乗鉄三昧の旅。勿論、旅の最中、列車内やドミトリーで出会った人々に指圧について説明したり、時に圧したりしながら。乗鉄ちゃんの憧れＴＧＶにて６月26日パリ到着。ツーリストインフォメーションが見つからず、親切なお巡りさんがスマホで調べてくれた安宿に投宿。

翌日、宿の近くのホームセンターで変圧器を買い、付近の携帯電話屋でＳＩＭカードを買った。店員さんに設定を頼んだが、日本語入力設定が出来なかった。故にメールがローマ字で、私と通信して下さった諸兄には御不便を我慢して下さって有難うございました。兎にも角にも24日振りにスマホが使える様になった。さあ、いよいよ五輪にアプローチ。

どの国の選手団に挑もうか？私は仏語はさっぱり。自ずと英語圏の国となる。地図帳で調べたら英語を国語か公用語としている国・地域は40ヶ国以上あった。勿論、英国や米国等の大国は私に取り合ってはくれないだろうし、興味無い。面白そうなのはやはり、最後のフロンティアと呼ばれるアフリカだ。浪越の偉大な先達も欧州、米大陸での御活躍は周知の通りだが、アフリカ武勇伝を未だ私は拝聴していない。一口にアフリカと言っても54ヶ国も在る。その中で、以前訪れたセネガルの中にガンビア川沿のみ細長く別の国として存在するガンビア共和国を一ヶ国目のアタック対象に選んだ。７月1日在仏ガンビア共和国大使館を訪れ、呼鈴を鳴らした。インターフォンに向かって自分が日本から来た指圧師で、パリ五輪担当の大使館員とアポイントを取りたい旨を伝えた。中へ通され、名刺と東洋療法研修試験財団に発行して頂いた英文証明書を提示し「ガンビア選手団に指圧し、彼等の競技パフォーマンスを上げさせて下さい。」と話した。応対に出て来てくれた儀典官のＳ氏は「私がパリ五輪の担当官です。大変興味深い御提案です。一時間後にもう一度お越し頂けませんか？」彼と握手を交わし、出直す事になった。外へ出た私は、おもいっきりパリの空気を吸い込んだ。門は開かれた！よし、やってやるぞ!!

今回は誌面の都合上、プロローグのみとなりました。いつか、どこかで、この続きをお話しする日を楽しみにしております。（了）

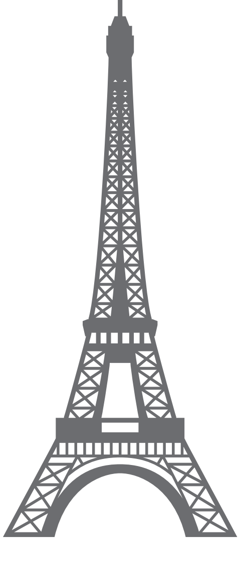
PARIS 2024
2024/07/28

2024/07/24

2024/08/02

Paris

RÊVEZ VOS EXPLOITS
DE DEMAIN
2024/08/02



【令和6年度】同窓会研修会開催報告

同窓会研修担当
第52期　大澤　昌裕先生

　今年度の研修会では大崎会長から基本指圧だけでは無くニーズの増えている訪問マッサージやトランスなど臨床現場で役に立つ研修を増やして行きたいとの考えから指圧以外の研修を増やしました。
『訪問マッサージの基本施術』を普段より訪問マッサージをメインに活動されている大崎会長にお任せしました。
　実際行われている患者さまの動画を見てもらってから会場でデモをやりながら補足説明を入れて指導して頂きました。
『訪問マッサージにおける浪越指圧』は大澤が担当しました。
基本指圧が出来ている事を前提にして圧し方よりも臨床現場で役に立つ様々な道具を使って患者さま、施術者双方に負担軽減するための指導をさせて頂きました。
　長く指圧師として活躍するためには施術者の負担軽減も必要だと考えます。
『トレーナーの動作分析から考える立ち上がり動作のケアポイント』では石塚先生にトレーナーの目線で立ち上がりや動き出しについて普段意識せずにしている行動、動作を改めて学ぶ事が出来ました。
『垂直圧が活きる！～指圧アロマで下肢の疲れ・だるさへのアプローチ法』では塩谷先生が症状にあわせて精油を使い分け、指圧との相乗効果を引き出す事でこれもまた診断即治療なのかと思いました。
　研修委員として自分が学びたい事や知って欲しい事を中心に来年度も開催して行きたいと考えております。

第1回研修会 大崎益弘先生

第2回研修会 大澤昌裕先生

第3回研修会 角本靖司先生

第4回研修会 石塚洋之先生

令和６年度（2024年度）同窓会研修会

	開催日	講師	テーマ
第1回	4月23日	大崎益弘先生	訪問マッサージの基本施術
第2回	5月21日	大澤昌裕先生	訪問マッサージの基本施術における浪越指圧
第3回	6月15日	角本靖司先生	療養費の取り扱い及び改定について
第4回	8月3日	石塚洋之先生	トレーナーの動作分析から考える立ち上がり動作のケアポイント
第5回	9月7日	森　淳子先生	高齢者への介護の現場から見る指圧 / マッサージ介入時の注意点およびトランス実習
第6回	10月29日	塩谷千恵子先生	垂直圧が活きる!　指圧アロマで下肢の疲れ、だるさへのアプローチ法

第6回研修会 塩谷千恵子先生

指圧師の未来について

同窓会研修担当
第43期　硴田　雅子先生

令和６年度の研修会は６回開催しました。

特に昨年（２０２５年）は訪問マッサージ受領委任取り扱いについて、大幅な改正があったため、その内容の研修会には多数の参加があり、卒業生、在校生にとって、興味深いものとなったと感じました。

昨今のセラピストを取り巻く環境は変化の一途を辿り、かつてはクラスメイトとの会話としては開業または治療院勤務が主流でした。

その後、高齢化の波が目まぐるしい変化をもたらし、施術環境としては介護を受けている方々への訪問マッサージという新たな施術の領域が主流となって来ました。

その新しい流れで企業による訪問マッサージ専門会社が増えて来ました。

現在、クラスメイトとの会話は就職はどうする?というようになっているのではないでしょうか?

とはいえ時代の流れは今また、昭和ブームの文化も同時に来ているようにも思います。

そこで指圧師として注目したい昭和の文化は、かつて一世風靡した浪越指圧です。

指圧は日本発祥であり、歴史を辿りますと古事記では約二千年前に記述が有るとされています。

また、最近の傾向としてインバウンドのお客さんを施術している卒業生からは指圧は人気がある、と聞いております。

このことは母校の創設者である浪越徳治郎先生が、かつて海外でSHIATSUを普及してくださっていたお陰で、今また海外の方から指圧が注目され始めているのではないかと感じております。

指圧は一朝一夕で身に付くものではなく奥の深い手技でございます…だからこそ身に付ける楽しさがそこには有ります。

その指圧の奥深さを患者さんが体感した時、患者さんは指圧の大ファンになります。

そこが指圧を専門として学び臨床経験を積んだセラピストの喜びとなります。

現在は就職という流れが有るとしても、いずれは定年を迎えるなどで会社勤務を離れる日は来ます。

その時「そうだ!自分には指圧がある!」

「指圧療法で全身施術が出来る!」

「患者さんの健康増進のお手伝いができる!」

第二第三の人生も現役だ!更にセラピストは施術をするにあたり、自身の健康管理を大切にすることにも成ることでしょう。

将来を見据えて日々の精進として卒業生、在校生、皆さんには更なる技術の進化を目指して頂きたい。

多様化した職業の中で、その選択肢の一つとして指圧があります。

その為の学び直しが出来るシステムが同窓会研修会です。

技術は減らない、荷物にならない、いつも自分と共存しています。

これからも皆さんの研修会参加を心よりお待ちしております。

開業奮闘記

青柳治療院
第63期　青柳　恵里奈先生

◉指圧を学ぶきっかけはなんですか？

元々、人の役に立つ仕事がしたくて介護福祉士として介護全般の仕事をしておりました。色々なお身体の状態の高齢者様と関わっていくうちに、この方はこの筋肉（関節）を緩めて鍛えたらもっと身体機能が改善し、ご自身で出来ることが増えたら、気力や生きる喜びも増える、自立支援になる！そして安全で介護者も楽な在宅生活が送れるのではないかと思うようになりました。医療の知識も手技も分からない私は高齢者様が痛いと訴えるところに手を当て撫でることしか出来ませんでした。それでも「気持ちいいね、温かいね」と嬉しいお言葉を頂き、色々な方々に元気になって頂きたいと思い指圧の免許を取得することを決意いたしました。

◉浪越学園を選んだ理由は？

盲学校であん摩マッサージ指圧師の免許を取った主人が、「指圧と言えば浪越！浪越一択!!」と勧めてきました。「元気が出るテレビ」を観ていたので徳治郎先生の存在はもちろん存じ上げておりましたが、私はもう少し近い学校ないのかな～と内心思っていました。鍼灸の学校は多くてもあん摩マッサージ指圧師だけの学校は限られるのですね。でも臨床に出た現在、浪越を選んで本当に大正解だったと思っております。

◉3年間の学園生活は大変でしたか？

私は勉強の仕方も忘れた48歳で入学し、隣の席は18歳の男の子（笑）とにかく内容を理解して記憶する速さがこんなに違うかと一番苦労しました。しかも科目と定期テストが想像以上に多く、朝から夕方まで仕事をしていたので勉強する時間も限られ、とんでもない所に入ってしまった、これが3年も続くのか・・・と入学したことを後悔した日もありました。1年生の2月頃からコロナ禍の外出自粛、緊急事態宣言が始まり、4月になり2年生になっても何か月も登校出来なかったのは不安でした。学校から離れてしまうと、座学も実技も習ったことをどんどん忘れると思い、自分なりに出来ることをやろう！と解剖生理を中心に復習していました。先生方もオンライン授業の準備対応に苦労されたと思います。学園祭などの学校行事が中止になりとても悲しかったです。

◉学生生活で楽しかったことは？

夜間部で老若男女のクラスメイトが揃っていたので、とにかく飲み会が楽しかったです。時には先生方も参加してくださり、授業では聞けないお話がとても良かったです。授業が終わって飲み始め2時間程すると、自宅まで1時間半かかるので、いつも終電ダッシュでした。今でも時々集まり患者様の症例検討や近況報告しながらの飲み会をしております。同期の皆が指圧の道で頑張っている姿にそれぞれが刺激を受け更にヤル気になります。とにかくクラスメイトと先生方に恵まれた3年間でした。

◉浪越指圧を学んで、その魅力は？

在学中はとにかく基本指圧を覚えることで精一杯で押圧後の効果などあまり考えられませんでしたが、卒業後、指圧していくと少しずつ患者様のお体の状態が改善していくのを実感できた時は本当に嬉しかったです。「あの時、先生が仰っていたことはこう言うことか!!」と解剖学、生理学、その他の科目が繋がっていきました。訪問マッサージの高齢者様に徳治郎先生のお名前を出すとご存じの方も多く「指圧の心、母ごころ」と指圧ポーズをして笑顔になって頂けるのでコミュニケーションもバッチリです。高齢者様用の名刺には徳治郎先生のお顔と「母ごころ」マークを入れさせて頂きこちらも好評です。

◉治療に携わり、どのように浪越指圧を活かしていますか？

私は他所での実践経験がないので、施術は浪越指圧がほとんどです。基本指圧の他に授業で教えて頂いた応用実技の動画やプリント、25期の小野田茂先生の書籍やDVDを観て浪越指圧の幅を広げて自分なりに練習しております。患者様の関節可動域が広がったり、疼痛や痺れが緩和させられた時は「浪越指圧すごい！」と思いました。それぞれお体が違うので押圧の強さには慎重になります。

◉開業・訪問事業の立ち上げについて教えてください。

２０１１年に免許を取った主人がしばらく整形外科で経験を積み２０１６年１月に埼玉県毛呂山町に自宅の隣の土地を購入しベッド2台の自費と保険の治療院を開業しました。開業当初の訪問はほとんど他の訪問事業所からの委託で請け負っていました。私は介護の仕事の傍ら

視覚障害者である主人の運転手や患者様のバイタル測定や移乗、体位変換、介護職員さんとの報告・連絡の担当をしておりました。私があん摩マッサージ指圧師の免許を取ってからは委託の訪問を辞め、一から営業をして集客、患者様を紹介して頂きました。以前、介護施設の管理者をやっていた頃から居宅のケアマネさんと関わってきたので仲良くなるのは得意でした。毛呂山町では健康づくりの町として訪問マッサージのご理解がある医師が多く、同意書も書いて頂けるので医師と連携しながらしっかり患者様と向き合うことが出来ております。

50代でパソコンスキルに乏しい私が、肩に力を眉間にシワを入れながらホームページやSNS、チラシ、パンフレットなど集客の為のツールを作成できた時は自分で自分を褒めました。私の普段のバッグにも名刺やパンフレットを忍ばせています。その成果で近所の馴染みの居酒屋さんやご飯屋さんがうちのポスターを貼ってくださっています。宣伝効果が大きいです。

◉治療院経営で大変なことは？

毎日やりがいのある仕事で楽しいのであまり大変と思うことも少ないですが、強いて言えば院内の掃除や月次の事務仕事、保険療養費請求、確定申告などです。日々の予約や訪問があるので家事が疎かになっております。悩みとしては開院当時、田舎の相場で自費の料金を安く設定をしてしまったのでなかなか値上げをする勇気がないことです。値上げしたら毎週通われている患者様が来なくなってしまうのではないか、と心配をしてしまいます。夫婦でお互いを支えあい「知識は身を助ける」「努力が結果に結びつく」もっと自信を持ってやっていかなくてはと思います。

◉青柳治療院の魅力を教えてください。

夫婦二人なので、ご夫婦、親子、お友達同士など二人同時に施術出来るのが一番のセールスポイントです。「ホームページのお二人（私達）の笑顔を見て選んで来ました」「女性の施術者がいるので安心」という患者様もいらっしゃるので夫婦経営の強みだと思います。店内は観葉植物が増え、癒しのスペースになっております。訪問マッサージでは介護の経験があるので、患者様の日常生活動作で気になることがあればご家族やケアマネと連携しております。訪問介護の延長として、残薬確認、配薬、室温調節なども出来てしまうのが地域に密着した小さな治療院ならではだと思います。訪問や移動の時間をタイトに設定していないから余計に出来てしまうのですね。あまり忙しくしたくない私です。

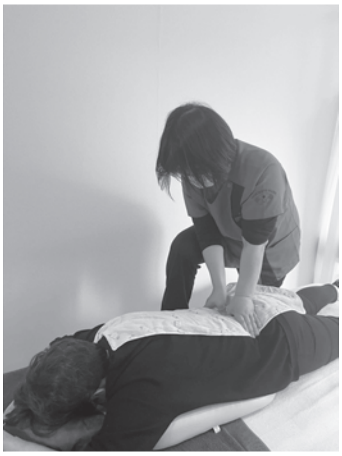
◉将来への展望は？

高齢者施設が好きなので機能訓練指導員をやってみたいと思いますが、実際はなかなか施設に勤務する時間を取るのは難しいです。それでも施設での制限が緩和されたらボランティアでの自己指圧教室や健康教室を開きたいと思っております。入居者様、スタッフの皆様が笑顔で生き生きとしたお姿をたくさん見たいです。セミナーに参加して手技や知識も広げたいです。まずは自分たちの健康も考えなくてはと思います。

◉治療院経営でのやり甲斐は？

開業当初はなかなか予約が入らず地域の飲食店や施設にポスターやチラシを置いて頂いたり、色々営業にも行きました。そのうちクチコミが広まり自費診療・訪問マッサージともに増え安定しております。今では予約が取れない治療院、とお言葉を頂き嬉しいです（笑）。施術をした後の患者様の満足したお顔とお言葉を頂くのが一番の励みと喜びになります。開業したいと思っている方がいらっしゃれば是非おすすめしたいです。やり甲斐だらけです。

色々な出会いと別れがまさに「一期一会」であり、これからも感謝の気持ちを常に持ってひと圧しひと圧し丁寧に心を込めて施術していきます。浪越学園と出会えて本当に良かったです。ありがとうございました。



同窓生からの便り

訪問マッサージTwinkle

第48期　新開　友香子先生

◆同窓生の皆さまへ

こんにちは、48期（2007年卒業）の新開友香子です。黒沢先生からご依頼をいただき、久しぶりに母校とのご縁を感じながら筆を執っております。

◆自己紹介

私は両親が共働きでしたが祖母の愛情をたっぷり受けて育ちました。幼い頃、祖母に肩たたきをすると「上手だなぁ！ちょうどいい塩梅だわぁ！」と褒められたことがこの道に進んだ原体験になっています。いつも見守ってくれている祖母にありがとうと伝えたいです。

2007年に卒業後、在学中からアルバイトしていたエステ会社に就職し、2009年にクラスメイトだった主人と結婚、2012年に長男の出産を機に退職しました。2019年から訪問マッサージ会社に勤務し、2021年には小児障がい児支援協会の養成講座にて小児障害マッサージを学び「訪問マッサージTwinkle」を立ち上げました。障害児者を中心とした健康保険による訪問マッサージをしています。

◆訪問マッサージを通じた経験

私は障害のある身内が居ることもあり、障害児者が地域で暮らす支えになりたいと思っています。

地域の中で訪問マッサージを身近に感じていただくために、主人と仲間と一緒に、2023年11月からカフェで1～2か月毎のペースでマッサージ体験会をしています。体験会では、マッサージの体験とその方が自宅でできそうなセルフケアをお伝えします。時々ですが障害者施設でボランティアマッサージも行っています。当事者会やB型事業所でセルフケア講座を実施する機会もありました。

このような活動を続けている中で、「障害児の訪問マッサージ」という分野に興味を持ってくれる方が少しずつ増えてきました。

◆訪問マッサージの魅力とやりがい

集団やスピーディな環境よりも、一人ずつ対応でき、徐々に信頼を築けることが私には合っていて、訪問マッサージの魅力だと思っています。

自分らしさを出せる環境での仕事は、もう少し工夫してみよう！と前向きになれるので、そのような職につけて本当に幸せです。

毎週マッサージしていると、体のちょっとした変化を感じられるようになり、自然と相手の体に対して感謝の気持ちがわいてきます。集中してマッサージしている時に、徳治郎先生のおっしゃる「診断即治療の真髄」とは、こういうことなのでは？と、いつの頃からか思うようになりました。

◆今後の目標と展望

今後も、障害児者への訪問マッサージを中心に、必要としている方々にサービスを届けることをしていきたいです。また、マッサージ体験会をしながら、仲間を増やしたいとも考えています。私自身、訪問マッサージを始める前は「どうやって施術をしたらいいのか？」と不安を感じていました。でも、実際にやってみると、少しずつ自分なりのやり方を見つけて、必要としている人に喜んでもらえるようになりました。

障害児の訪問マッサージに興味のある方がいれば、横浜市港北区で行っている体験会にお越しください。学びながら、この分野を広げていけたら嬉しいです。開催日時、参加費など詳細は当院ホームページでご確認ください。

訪問マッサージ
Twinkle ホームページ
https://www.twinkle-child.com

◆終わりに

私は地味な生徒でしたが、ユニークな先生方や多世代のクラスメイトと過ごした日々は、楽しくてとても充実していました。教科授業や指圧実技、学校旅行、上野公園でのボランティア指圧、マラソン部の活動、ハワイ研修など、どれも大切な思い出です。

これからも、感謝の気持ちを大切にしながら、母校で学んだ知識と経験を活かして、日々のマッサージを丁寧に行いたいです。同窓生の皆さまのご活躍を心よりお祈りするとともに、いつかどこかでお会いできることを楽しみにしています。

同窓生からの便り

EMO（えも）治療院 院長
第54期　江本　徹也先生

日本指圧専門学校、54期卒業生の江本徹也と申します。現在はEMO（えも）治療院の院長として、2025年8月に開院7周年を迎えます。

私事で恐縮ですが、同窓生からの便りにて、あん摩マッサージ指圧師を目指すきっかけや開院に至った経緯などをお話しをさせて頂きます。

今から22年前の19歳の時に恵比寿にてフィットネスクラブでアルバイトとして働きます。

先輩方のご指導の元、接客やフィットネスのノウハウを学ばせて頂いた事で、パーソナルトレーナーを目指すきっかけになったと思います。

運動指導をするにあたって、何か資格を取らなきゃと、NSCAパーソナルトレーナーの資格取得の為に、初めて参考書を買い勉強しました。

恥ずかしながら、学生時代はあまり勉強してこなく、スポーツだけしか取り柄がない人間でしたので、資格が取れた時はやれば出来るじゃんと調子に乗った記憶があります。

若さゆえに先の事など考えず、その頃に出会ったフィットネスの先輩コーチ達と意気投合し、共同経営で代々木に整体院を2008年に開業。

しかし、予約欄はほぼ白紙、予約が1件もない日が何日も続き、不安だらけの日を過ごしていく事になります。

先輩達についていけば、何とかなるでしょと軽い気持ちで開業し、人に頼ってしまった当時の自分は未熟者で沢山の苦い経験をしました。

2010年4月、このままじゃいけないと、自分で力をつけるにはどうしたら良いだろうと考えた結果、浪越学園に通う事を決めました。

浪越学園の印象はアットホームな環境で、先生方の母心感があたたかい雰囲気で安心させてくださり、様々な人達と出会い、最終目標である国家試験に合格すると言う共通の目的に向けて夜間Dクラスの皆と走りだしました。

しかし学校に通い始め1年後、代々木のお店は廃業する事となります。

浪越にて勉学に励みつつ、出戻りした恵比寿のフィットネスクラブで、アルバイトからパーソナルトレーナー契約を結び、個人事業主として仕事をするようになります。

その頃は浪越で得た知識や指圧実技により、結果を残せるようになってきていたので、パーソナルトレーニングの予約も少しずつ埋まってくるようになり、仕事が楽しく感じるようになりました。

2013年国家試験合格後、フィットネスクラブ内にある、治療院に所属、大手デイサービスでの機能訓練指導員としても従事し、片麻痺の方や、高次機能障害、認知症など、様々な症状の利用者様のリハビリテーションをお手伝いさせて頂きました。

2013年秋、定期的にパーソナルトレーニングを受けてくださっている方から、旦那様が脳梗塞をされたとの事で相談を受けて、退院後、ご自宅に訪問させて頂き、お身体を診させて頂きました。

脳卒中発症から退院まで、約2カ月、その間の期間は医師の指示にて理学療法士や作業療法士が、患者のリハビリを行うのですが、退院後の医療機関（受け皿）は少なく、麻痺障害を抱えた方や、あらゆる後遺症で悩まされている方の社会復帰や、これから起こり得る病気にならない為の予防などをサポート出来る場所を作ってあげられればと開業を考えるようになりました。

2018年8月、EMO治療院を恵比寿に開業。

当時、トレーニングや治療を受けて頂いているお客様が、ご来院して頂けるかどうかの不安がありましたが、ほとんどの方がご来院してくださり、今まで通り定期的に通ってくださいました。

経営のけの字も知らないところからのスタートでしたが、通ってくださる患者様を大事に、毎日コツコツ積み上げて、前に進んできたと思います。

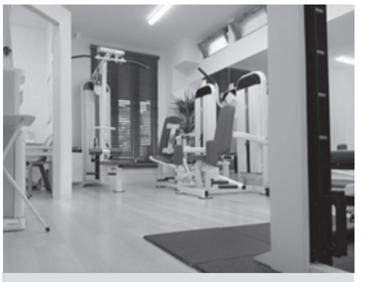
現在は、浪越卒業生の先生方をはじめ、7名の従業員がEMO治療院を盛り上げてくださっています。

☆当院のコンセプト
”治療”と”運動”の融合

当院では、パーソナルトレーナーと治療家、双方の経験を活かした最適なアプローチ方法をご提案し、心身の根本的な解決を二人三脚で目指します。

最後に執筆の機会を頂きまして、声を掛けてくださいました、黒沢先生ありがとう御座いました。

ここまでの歩みを思い出すきっかけを作って頂いた事に感謝申し上げます。



EMO 治療院
東京都渋谷区恵比寿南 2-29-8
1F
TEL 03-6303-0118
HP emochiryo.com

第17回 学園祭 ゆびまつり

２０２４年９月14日(土)、第17回日本指圧専門学校学園祭『ゆびまつり』が開催されました。

天気は晴れ、秋分の日を一週間後に控えた当日も、暑さはまだまだ夏真っ盛り。

午前中は、学生と教職員が一丸となり、看板や校内を風船やお花紙で飾り付けしていきます。「童心にかえっちゃうな～」と、クラスや学年の垣根を超え、和気あいあいとした雰囲気でお祭りの準備に勤しんでおりました。

正午、指圧連の演舞を皮切りに学園祭がスタート。昨年導入したキッチンカーは、今年はホットドッグでみなさんのお腹を満たします。定番の〝指圧体験〟や〝ＮＡＭＣによる〝マッサージ体験〟には、今年もたくさんの方々にお越しいただきました。整理券配布所には長蛇の列が！あん摩マッサージ指圧師のたまご達が母心いっぱいで施術いたしました。

〝健康測定〟や〝ヨガ指圧体験〟には卒業生がひょっこりと。久しぶりに会えた先生や職員との会話を楽しみながら、知識もお持ち帰りできるのは学校ならではだと思いました。お祭りに欠かせない〝縁日〟に音楽クラブの〝生演奏〟も、教室がいっぱいになるほどの大盛況で、「遊びに来て下さったお客さん達に楽しんでもらおう！」と学生たちも張り切っておりました。

今年の『ゆびまつり』も素敵な賑わいの学園祭となりました。また来年も一段と楽しめる内容でお届けできればと思います！

ご来校くださった皆さま、ありがとうございました♪

事務局　中村

令和 8 年度 (2026 年度)　総合型選抜（AO）入学試験　日程

区　分	試験日時（面接）	エントリーシート受付期間
第1次	6月14日　(土) 午後２：00～	6月　2日　(月) ～ 6月11日　(水)
第2次	7月　6日　(日) 午前９：30～	6月16日　(月) ～ 7月　3日　(木)
第3次	7月25日　(金) 午後６：30～	7月　7日　(月) ～ 7月22日　(火)
第4次	8月17日　(日) 午前９：30～	7月28日　(月) ～ 8月14日　(木)

令和 8 年度 (2026 年度)　入学試験　日程

区　分	試験日時		出願受付期間
社会人１次入学試験	9月20日　(土) 午後２：00～		9月１日　(月) ～　9月17日　(水)
学校推薦型選抜（推薦入学試験）	10月19日　(日) 午前９：30～		10月１日　(水) ～ 10月16日　(木)
社会人２次入学試験			
一般1次入学試験	11月16日　(日) 午前９：30～		11月４日　(火) ～　11月13日　(木)
一般２次入学試験	12月13日　(土) 午後２：00～		11月17日　(月) ～ 12月10日　(水)
一般３次入学試験	1月23日　(金) 午後６：30～		1月５日　(月) ～　1月20日　(火)
一般4次入学試験	2月７日　(土) 午前10：00～		1月26日　(月) ～　2月　4日　(水)
一般5次入学試験	2月27日　(金) 午後６：30～		2月９日　(月) ～　2月24日　(火)
特別入学試験	3月　3日　(火) 3月　6日　(金) 3月10日　(火) 3月13日　(金) 3月17日　(火)	時間は各日 午前　9：00～or 午前10：00～ 午後　1：00～or 午後　2：00～	希望入試日の２日前必着

＊詳細は日本指圧専門学校事務局までお尋ねください。TEL03-3813-7354

第66期　卒業式

第66期卒業式が3月8日（土）日本指圧専門学校の校舎にて14時から執り行われた。事務局中村先生の司会で、君が代斉唱の後、卒業証書の授与に移る。68名の卒業生は、久坂健太先生、金子智久先生の呼名を受け、浅谷健介校長より専門士の称号と卒業証書を手にした。

皆勤賞、優等賞と表彰が続き、さらに部活動に活躍した学生が多数表彰を受けた。3年間皆勤した3名には特に称賛の拍手を送りたい。続いて東洋療法学校協会賞が中村広美さんに手渡され会場は拍手喝采に包まれた。昼間部夜間部の垣根を超えて表彰を喜び合う姿に〝浪越学園らしい〟温かな雰囲気を感じた。浅谷校長、浪越和民理事長より指圧師としての心得、大崎益弘同窓会長から貴重なご自身の経験に基づくエールを頂戴した。中目暢彦さんによる3年間の思いが詰まった卒業生の言葉も涙を誘った。校歌斉唱し閉式。閉式後も思い出を語り合う表情はとても晴れ晴れとしたものであった。

浪越学園での思い出

A組　藤田　雄大

時間の流れはとても早く、入学してからあっという間の三年間でした。まさに陰陽消長。

最初は週6で毎日学校に通うのが眠いし、疲れるし、覚える事も沢山で正直不安でした。ですが、先生やクラスの人の中に癖が強かったり、面白い人が沢山いたので、毎日とても刺激的で退屈せずに最後まで走り抜けることができました。ありがとうございました。

この学校では実技の授業の割合が多く、毎週色んな人を指圧するのは色々な発見があり、楽しく学ぶ事が出来て一番好きでした。心得も言えるようになってしまいました。

そんな中で指圧って、自分の身一つで全てが完結できる点がとても魅力的だと感じました。

道具や準備にお金がかからないので、一番開業しやすい職なんじゃないかと思うんですけど、みなさんはどう思いますか?

浪越の全身指圧をするだけでも沢山の人に喜ばれると思うので、私は路頭に迷ったら学んだ技術を活かして海外で開業して、マーケットを拡大させていきたいと思います。浪越万歳。

そしてこの学校の思い出のひとつに野球部に入ったのもあります。誰とは言わないですけど同級生にとてもお世話になった二刀流エースがいたり、先輩、後輩達との交流は普段学校ではあまりないため、とても新鮮でした。特に最後の試合は凄い接戦で一番思い出深いです。

最後に、色んな面で温かく支えてくださった先生方、事務の方々、そして卒業生のみなさん。3年間ありがとうございました。皆さんの成功をお祈りしています。

私の選んだ道

B組　太田　希

この度、無事に学校を卒業することができ、心から嬉しく、感謝の気持ちでいっぱいです。先生方やクラスメイトと過ごした日々は、私にとってかけがえのない経験となりました。

入学当初、私たちはクラスメイトとの距離を縮めるため、ニックネームを決めることから始めました。ちょっとした遊び心でつけ合ったニックネームが、私たちの友情のきっかけとなり、自然と仲が深まりました。学校生活を豊かにする大切な一歩だったと感じています。

進路については、私は訪問マッサージの道を選びました。祖母の介護をきっかけに、心身のケアの重要性を実感し、この仕事を志すようになりました。祖母が体を不自由にし、何気ない動作ができなくなる中で、指圧が心身に与える影響を目の当たりにしました。

訪問マッサージは筋肉をほぐすだけでなく、患者さまの心を癒し、生活の質を向上させる手助けができる仕事だと考えています。これからも、祖母のように支えを必要としている方々の力になれるよう、努力していきたいと思います。

最後に、学校生活で辛い時に相談にのってくださった先生方、国試前に胃腸炎にかかり、不安で押しつぶされそうになった時に励ましの言葉をくださった先生、本当にありがとうございました。

改めて先生方やスタッフ、クラスメイトに心から感謝の気持ちを伝えます。卒業は新たなスタートです。これからも頑張りますので、引き続き見守っていただけると幸いです。

人生で一番大切なこと

C組　高尾　智恵子

２０２２年春、数年ぶりに幼馴染に会い近況報告をすると、「ついに夢を叶えるんだね」と。私は訳がわからず「何のこと?」としばし固まりました。幼馴染曰く中学生の頃の私は、好きなアイドルの話をする友人の隣で「指圧の心　母ごころ　押せば命の泉湧く　ワッハッハー」と、よく笑っていたのだとか。能天気なアホだった様です。

それはさておき、私は長年看護師として命と向き合う中で、医療リンパドレナージのセラピストとしても活動する機会が得られました。そこで手技療法により、もっと多くの人の助けになりたいと考え、保険開業ができるあマ指師の道を選びました。

ビル・パーキンスの著書「ＤＩＥ　ＷＩＴＨ　ＺＥＲＯ」に「人生で一番大切なのは思い出を作ることだ」とあります。私は死の間際に一言残せるなら「あー楽しかった」と言いたいのです。そのために、様々な経験と人との出会いを大切にして沢山の思い出を作りたい、「ありがとう」は親兄弟にも、時を待たず即伝えていこうと思っています。

日本指圧専門学校での3年間は実に楽しかった！素敵な人々と出会い、貴重な体験をし、思い出がいっぱいです。仕事と勉学の両立が苦ではなかったのは、66期C組の優しい仲間のおかげで、個性豊かな先生方や、素晴らしい先輩との出会いにより、将来の目標が明確になりました。ここに深く深く感謝申し上げます。

指圧師としての今後は、基本の「垂直・持続・集中」を極めるべく、視野は広く、常に探究心を持って続け、沢山の思い出を作っていきます。

寄付金賛助者ご芳名

令和六年度寄付金
二〇五件
五〇五、八六〇円

御芳名掲載をもって御礼と領収の証とさせていただきます。

〇数字卒業期
( )旧姓
※敬称略、順

☆一万八千円
㉞渡辺豊

☆一万二千円
㉗川原善次郎

☆一万円
⑰小林秋朝㊲石塚怜子㊵三田利幸㊷馬場雄一(53)浅谷健介(54)今井(黒田)智枝(59)匿名希望(62)辻幸一郎

☆八千八六〇円
(53)有志お酒の会

☆八千円
㊽椎名賢太郎㊿田中慶篤(52)一瀬衛子(56)河北剛(65)犬丸善博

☆七千円
(61)鈴木健介

☆六千円
③稲場啓護㊾田中功

☆五千円
⑳海上富雄㉑服部(町田)青香㉔伊藤次雄㉘宮城勝次郎㊼酒見健太郎(51)匿名希望(53)河内誠二(58)安保勝

☆四千円
㊹小野朋子

☆三千円
④村越(井上)てい子⑯酒井直行⑱梅沢宗仙⑲飯島幸雄㉑石川博和㉒田中育子㉒橋本二郎㉓馬場正義㉔向井豪㉔藤森増雄㉕鶴見せつ子㉖本間裕㉖野口(清水)雅子㉗田中(川又)由紀子㉗柴田俊久㉗内城勇造㉗浪越雄二㉙関根康博㉚赤岡充雄㉚山下泰治㉚宇佐美七海㉟中山節㉟岡本一宏㊱粟村煒子㊱小暮直人㊲末永洋子㊴大谷浩二郎㊴柴田ひろみ㊵吉田憲生㊸硴田(前田)雅子㊺北條崇成㊼稲生妙子㊼當麻康江㊽初澤浩一㊾鈴木啓太㊿氏名不詳(53)石田浩(54)高野良治(56)姫路雄紀(58)福田慎一郎(59)休宮明彦(59)田口文隆(62)清水俊一(63)十亀裕樹(63)木村明美(64)大草久幸(65)山﨑麻稀

☆二千円
㉒高木二朗太㉖佐藤優㊸本田郁雄㊹長島明㊺小林章一㊺山﨑陟㊼神康隆(55)土屋貴洋(56)角本靖司(59)岡庭幸正(63)阿部敬(63)斉藤裕子(63)尾上雅之

☆千円
⑨原ちゑ子⑪滝口(吉田)茂子⑫岩切秀樹⑬鳥実専二⑭高柳茂男⑰平井伸穂⑰平井(市川)浩子⑰糸井正子⑰萩原嘉寿代⑱片山晶子⑱堀江秀樹⑲天海誠⑲佐藤玄祥⑲麻生島勇⑲榎本紀次⑳椚克彦⑳渡部武利㉑鴨井順司㉑佐藤栄光㉓森岡忠司㉓高橋寛二㉔田川博㉔中村(岡崎)陽子㉕北村雅彦㉕工藤文宏㉕糸井主好㉖杉山保雄㉖青山晴基㉖笠原正親㉗内山直行㉙平良千代子㉙西川保洋㉚大場(茂木)秀子㉛田中伸明㉞大城裕子㉞西海泰子㉞藤沼しづ子㊱岡﨑浩二㊳荒木麻那美㊳小林信行㊳本間陽一㊳木村龍一郎㊳田島秀樹㊳溝下(小野沢)伸子㊵田沢佳世子㊶鈴木喜也㊷相澤寛和㊷本間博㊸相澤文隆㊸中田健二㊸柳将博㊸加藤勉㊸上田康弘㊹石井勝雄㊹入江徹㊹金田美智子㊹大野まゆみ㊹佐久間崇㊺鈴木喜美子㊻重森祐二㊻岡野昭㊻高野哲彦㊼谷内克大㊽星野智㊽松本修㊾高木諭㊾中盛祐貴子㊿竹内高雄㊿藤本かおる㊿込山哲郎㊿市原佑里㊿菊崎カデナ㊿黒沢武志(51)大岩治男(51)松村哲也(52)大澤昌裕(53)丸山一郎(53)長谷部佳代(54)加藤恵美子(54)熊田(永瀬)友香子(54)中村美月(54)濱田大輔(55)伊藤勝基(56)笠井謙次(56)平田玲子(56)関根由記子(56)大平和雄(56)長澤博一(57)遠藤登(57)喜多野智之(58)前田孝政(58)吉田大介(59)星野貴(60)中川健一(60)嶋田直人(60)砂山典子(61)竹崎美香(61)清水直紀(61)福田隆雄(61)中村三千代(61)町田和行(61)宅和由香里(61)野上有子(61)森岡健(62)山中秀樹(62)安藤清美(63)小西輝来(63)青柳恵里奈(63)三野絵里(64)岩田和子(64)関義仁(65)宮下光(65)末永達彦(65)加藤義之(65)井上ゆかり(65)小嶋康平〈卒業期不明〉真間勝男

予算・決算・収支報告書

予算案

自　令和７年４月１日
至　令和８年３月31日

収　入　の　部			
	令和6年度予算	令和6年度決算	令和7年度予算
前年度より繰越	7,501,693	7,501,693	5,106,702
入会金	750,000	660,000	1,095,000
運営費	750,000	654,000	650,000
総会収入	500,000	214,000	400,000
預金利息	50	1,297	1,000
その他収入	0	58,140	50,000
寄付金	650,000	505,860	500,000
講習会費	0	0	0
収入合計	10,151,743	9,594,990	7,802,702

支　出　の　部			
	令和6年度予算	令和6年度決算	令和7年度予算
総会費	1,500,000	613,400	800,000
講習会費	600,000	396,923	500,000
会報発行費	1,500,000	1,499,557	1,650,000
通信費	300,000	100,865	250,000
印刷費	30,000	18,700	30,000
渉外費	50,000	14,000	30,000
交通費	100,000	94,400	100,000
慶弔費	50,000	37,000	50,000
事務用品費	30,000	5,720	30,000
雑費	30,000	0	30,000
情報管理費	800,000	478,344	500,000
役員会議費	150,000	60,599	100,000
設備使用料	36,000	36,000	36,000
予備費	100,000	0	100,000
新規事業費	1,300,000	1,132,780	1,000,000
事務活動費	30,000	0	30,000
支出合計	6,606,000	4,488,288	5,236,000
次年度繰越	3,545,743	5,106,702	2,566,702

貸借対照表

日本指圧専門学校同窓会
令和７年３月31日現在

資　産　の　部		負債及び正味資産の部	
現金	31,286		
三菱UFJ普通口	1,989,559	（正味資産の部）	
ゆうちょ銀行	3,085,857	余剰金	5,106,702
合計	5,106,702	合計	5,106,702

令和6年度収支報告書

自　令和６年４月１日
至　令和７年３月31日

収　入　の　部			
	令和6年度予算	令和6年度決算	内　訳
入会金	750,000	660,000	45名分
運営費	750,000	654,000	327名分
総会収入	500,000	214,000	懇親会参加費、理事長ご祝儀
預金利息	50	1,297	ゆうちょ銀行　三菱UFJ銀行　利子
寄付金	650,000	505,860	206名分
講習会費	0	0	
その他収入	0	58,140	東京海上日動　払戻金
当期収入合計	2,650,050	2,093,297	A
前期繰越収支差額	7,501,693	7,501,693	B
収入合計	10,151,743	9,594,990	A+B

支　出　の　部			
	令和6年度予算	令和6年度決算	内　訳
総会費	1,500,000	613,400	機山館懇親会会場使用料
講習会費	600,000	396,923	研修講師謝金、会場使用料
会報発行費	1,500,000	1,499,557	会報第44号　旭出版
通信費	300,000	100,865	郵便別納料金、振込手数料、切手代
印刷費	30,000	18,700	同窓会封筒印刷　一進社
渉外費	50,000	14,000	指圧協会新年会会費、祝い金、65期卒業祝い金
交通費	100,000	94,400	役員交通費
慶弔費	50,000	37,000	指塚供養会費、卒業生開業祝い生花代
事務用品費	30,000	5,720	文房具、領収書等
雑費	30,000	0	
情報管理費	800,000	478,344	ホームページサーバーレンタル料、データ入力費用
役員会議費	150,000	60,599	役員会会場使用料、飲料
設備使用料	36,000	36,000	母校へコピー機、電話等施設利用料として
予備費	100,000	0	
新規事業費	1,300,000	1,132,780	ホームページリニューアル費用　クウマ
事務活動費	30,000	0	
当期支出合計	6,606,000	4,488,288	C
当期収支差額	(3,955,950)	(2,394,991)	A−C
次年度繰越	3,545,743	5,106,702	A+B−C

令和7年3月31日

日本指圧専門学校同窓会
会長　大崎益弘　印
会計　高橋雄輔　印
　　　青木美稚子　印
監査　渡邉和雄　印
　　　角本靖司　印

2025（令和7）年度　通常総会・懇親会

日時：令和7年6月8日（日）10時30分（受付：10時～）

【通常総会】

会　　場：ホテル機山館
住　　所：東京都文京区本郷4-37-20
　　　　　TEL：03-3812-1211（地図参照）
アクセス：地下鉄本郷三丁目駅より徒歩2分（1, 2番出口または3番出口）
時　　間：総会（10：30～11：30）
内　　容：活動報告、会計報告、監査報告、予算案

【懇親会】

会　　場：ホテル機山館
住　　所：東京都文京区本郷4-37-20
　　　　　TEL：03-3812-1211（地図参照）
アクセス：地下鉄本郷三丁目駅より徒歩2分
　　　　　（1, 2番出口または3番出口）
時　　間：12：00～14：00

会　　費：卒業生 7, 000円　在校生 無料
申　　込：会報誌に同封されておりますハガキにて
　　　　　出欠をお知らせください。

本郷三丁目からの地図（HPより）

運営費納入のお願い

毎年のお願いではございますが、運営費のご協力をお願い申し上げます。運営費は会員間の親睦を図るため会報の発行、名簿の整理、研修会の実施などに使用されております。
同封の振込用紙をご参照の上、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

総会会費について

令和7年6月8日に同窓会総会、懇親会を行います。懇親会へ参加ご希望の方は、同封の振込用紙をご参照の上、7,000円のお振込みをお願い致します。

編集後記

五月晴れの太陽のエネルギー、新緑の清々しいマイナスイオンを体中に浴びて丘に寝転びたくなる様な季節を迎え体も気持ちも躍動的になってきますね。同窓生の皆様いかがお過ごしでしょうか。

相変わらずの景気の低迷、数々の事件などが私達の生活や心までをも傷付けてきますが、「母ごころ」と「母指圧」に込めた信念を持って、耐えて、また前向きに頑張って行きましょう。

今年の二月十一日（火）には我が日本指圧専門学校は創立八十五周年を迎えるに至りました。改めて浪越徳治郎先生の偉大さを心に刻み、噛み締めた一日でした。同窓生の皆様、この歴史と伝統に輝く日本指圧専門学校を誇りとし、夢は大きく世界平和に向けて親指を交わそうではありませんか。「指圧の心、母ごころ、押せば生命の泉湧く」ワッハッハ。

（金子智久）